

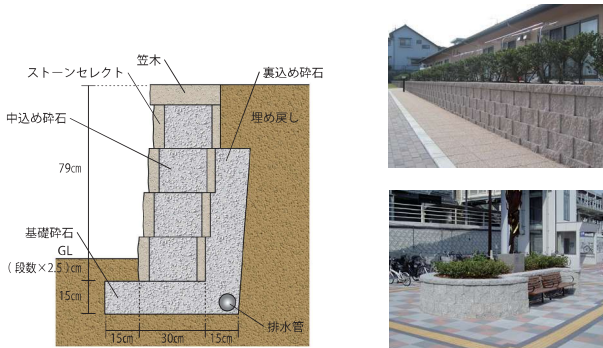
工法の種類

重力式擁壁

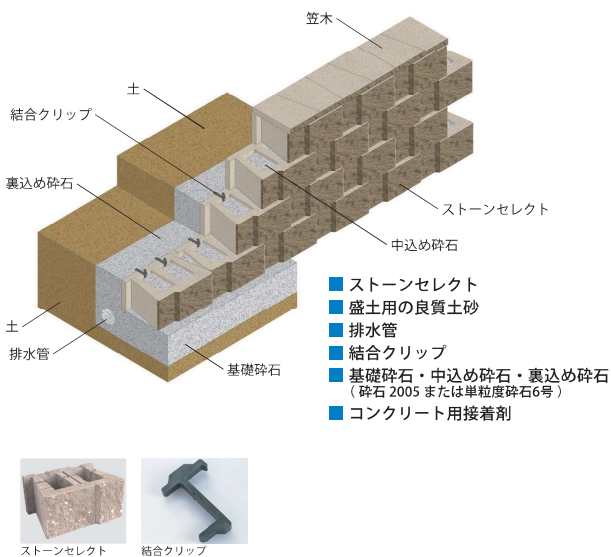
コンクリートブロック [ストーンセレクト] と、専用の結合クリップおよび充填した砕石の摩擦力で構成される擁壁の自重で支える工法です。

適用範囲

重力式工法では、目安として壁高1mまで適用可能です。なお、現場の設計条件により、1m以下でも補強材（ジオグリッド）が必要となることがあります。



構成材料

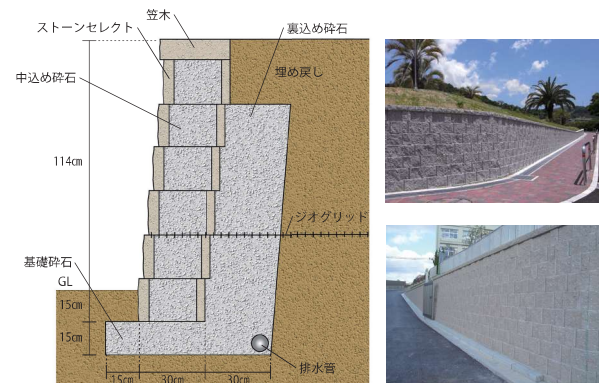


補強式擁壁

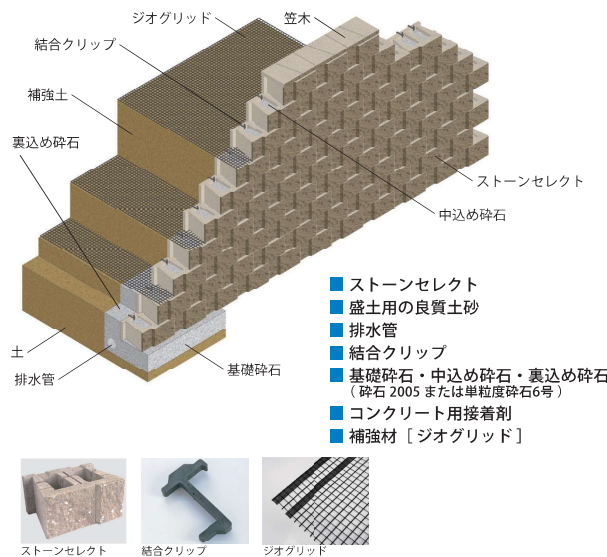
NCMA（アメリカの連邦コンクリートメーソナー協会）の設計法を用い、補強材にジオグリッドを使用して、コンクリートブロック [ストーンセレクト] と専用の結合クリップ、充填骨材でかみ合わせ工法です。

適用範囲

補強式工法では、目安として壁高2mまで適用可能です。  
※壁高が2mを超える場合にはお問い合わせください。



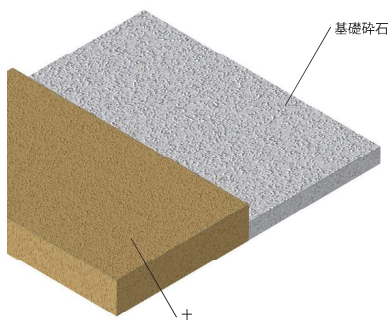
構成材料



標準施工手順

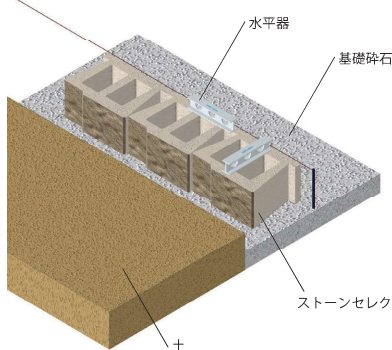
1 基礎工

- ①基礎底面は、表土や植栽を取り除き、所定の寸法を水平に掘削します。
- ②掘削された基礎底面は、凹凸にならないよう整地します。また、ストーンセレクトを据付ける位置の掘削底面は十分に転圧します。
- ③掘削された基礎底面に砕石を敷き、仕上り厚15cm程度になるよう振動コンパクタで転圧し、水平になるようレベル調整します。



2 ストーンセレクト 1段目の据付け

ストーンセレクトが正しい向きであることを確認し、基礎砕石の上に水平に据付けます。墨出しは、ストーンセレクトの後部にて行います。



3 砕石・盛土の施工

- ①ストーンセレクトの空洞部へ中込め砕石を充填し、振動コンパクタで締め、沈下分の砕石を補充します。
- ②ストーンセレクトの背後に所定寸法の裏込め砕石を施工します。
- ③裏込め砕石の背面の盛土を、壁面の変形が生じないように振動コンパクタやタンバ等を用い、十分に締めめます。

